

中部国際空港について

2024年1月

中部国際空港株式会社航空営業部



中部国際空港株式会社
Central Japan International Airport Co.,Ltd.



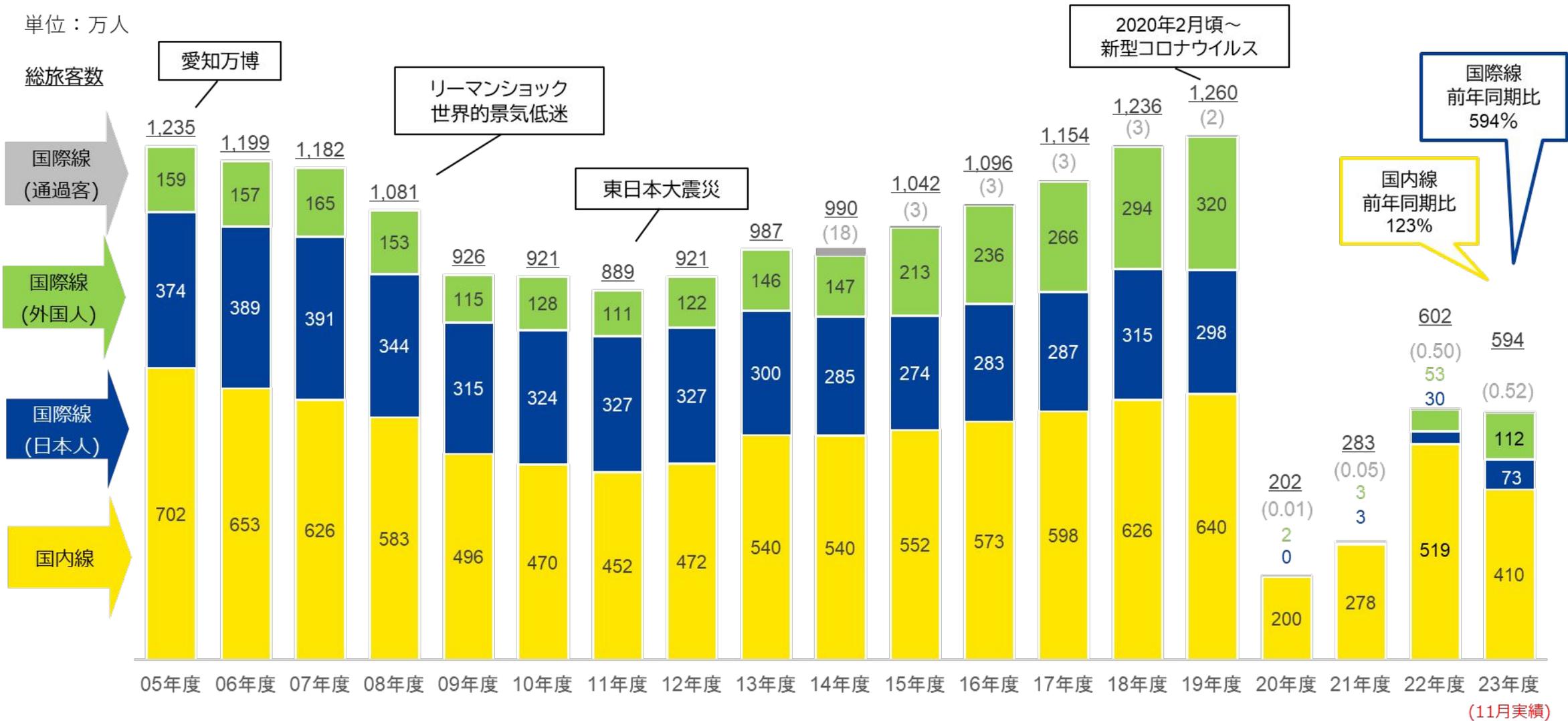
- 01 中部国際空港旅客便の近況
- 02 コロナ後の中国市場と課題
- 03 中国インバウンド施策

01

中部国際空港旅客便の近況

単位：万人

総旅客数





2024年1月1日時点

就航数:18都市 便数:249便/週

[参考:各ダイヤピーク時]
 19年夏ダイヤ: 38都市463便
 19年冬ダイヤ: 42都市486便
 20年夏ダイヤ: 2都市 5便
 20年冬ダイヤ: 4都市 13便
 21年夏ダイヤ: 6都市 15便
 21年冬ダイヤ: 7都市 18便
 22年夏ダイヤ: 11都市 53便
 22年冬ダイヤ: 12都市 94便
 23年夏ダイヤ: 17都市 205便

東アジア [10都市 182便]

- ・ソウル 56
- ・釜山 7
- ・大連 7
- ・北京 7
- ・天津 6
- ・南京 4
- ・上海 34
- ・台北 26
- ・高雄 3
- ・香港 32【台北経由7】

東南アジア [6都市 52便]

- ・マニラ 21
- ・シンガポール 5
- ・ハノイ 11
- ・ホーチミン 5
- ・バンコク 7
- ・クアラルンプール 3
- 【台北経由】

ビーチリゾート [2都市 15便]

- ・グアム 11
- ・ホノルル 4

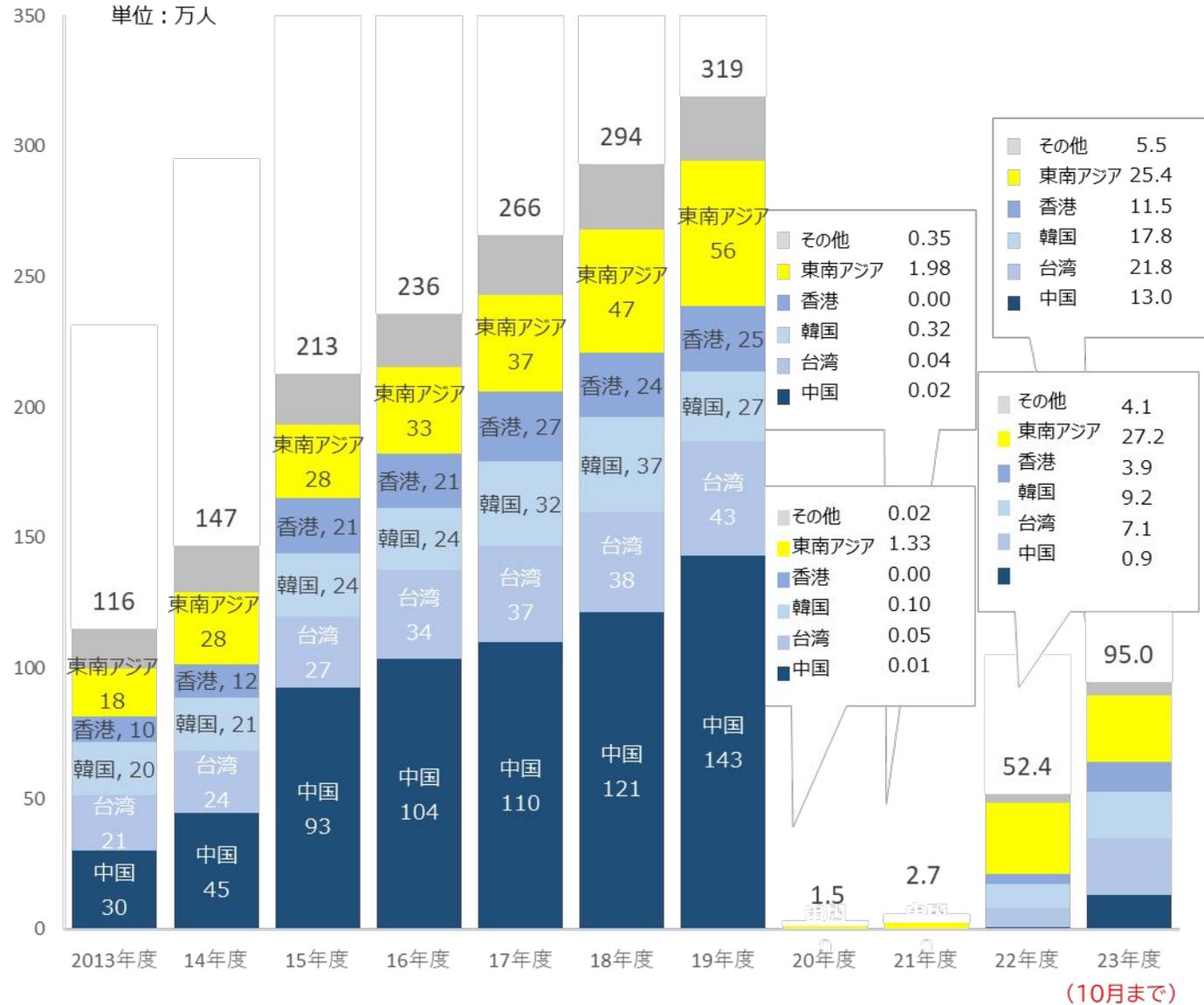




中国路線 定期旅客便の運航状況(2024年1月30日時点)

就航地	航空会社 (運航再開/開始日)	便数 (便/週)
大連	中国南方航空 (2023年5月20日～)	4
	春秋航空 (2023年11月20日～)	3
北京	中国国際航空 (2023年5月19日～)	4
北京(大興)	上海吉祥航空 (2023年7月1日～)	3
天津	天津航空 (2023年4月10日～)	4
	日本航空 (2023年5月11日～)	2
南京	上海吉祥航空 (2023年12月22日～)	7 1/20より7

就航地	航空会社 (運航再開/開始日)	便数 (便/週)
上海(浦東)	中国東方航空 (2023年5月18日～)	10
	春秋航空 (2023年5月19日～)	3
	上海吉祥航空 (2023年8月8日～)	11 1/20より11
	上海航空 (2023年9月28日～)	7
	中国国際航空 (2023年12月22日～)	7



2023年度(4-10月)

訪日外国人	全国 出入国者数	シェア	
総数	30,860,401	950,222	3.1%
東アジア	19,570,507	640,801	3.3%
内4ヶ国	19,521,071	639,971	3.3%
中国	3,836,294	130,417	3.4%
香港	2,497,929	115,115	4.6%
台湾	5,125,277	217,672	4.2%
韓国	8,061,571	176,767	2.2%
東南アジア	4,052,736	254,962	6.3%
内5ヶ国	3,555,307	241,659	6.8%
タイ	1,048,428	44,039	4.2%
ベトナム	633,827	73,192	11.5%
インドネシア	449,953	11,574	2.6%
フィリピン	849,533	97,494	11.5%
シンガポール	573,566	15,360	2.7%
その他アジア	582,770	13,840	2.4%
オセアニア	766,792	5,359	0.7%
ヨーロッパ	2,292,028	13,913	0.6%
南アメリカ	166,485	3,295	2.0%
北アメリカ	3,377,093	17,602	0.5%
米国	2,664,635	12,888	0.5%
アフリカ	51,422	429	0.8%
無国籍	568	21	3.7%

法務省：出入国管理統計「港別 出国/入国外国人の国籍・地域」より ※内訳は、一部国籍のみ掲載

02

コロナ後の中国市場と課題



■ 中国市場の訪日客が求めるもの

- 中国人観光客の観光目的は変更が起きており、「旅行先ならではのもの、食を体験したい」、「自分や家族にとって、学びに繋がることをしたい」、「旅行先の歴史・文化や豊かな大自然を体験したい」等欧米観光客と同様化し、「爆買い」などの単純なものではなく、「ディープな旅」を求める傾向。

■ 中国市場の旅行形態

- 団体旅行よりも、小グループ・オーダーメイド旅行が増えている。
- 2019年には全体の7割がFIT。中部としては5割であるが、FIT化が加速するとみられる。
- 日本リピーターが増加傾向。



**自然が豊か・まだ認知度の低い中部としてはチャンス
リピーターにいかに中部を選択してもらうか**



■ 認知不足

- ・ 名古屋、白川郷等以外に、魅力的な観光コンテンツや文化等が知られていない。

■ 情報不足

- ・ 関東や関西と比較しても中部の露出や情報量が少ない
2021年旅行口コミサイト「マナーフォー」では、中部地域の情報量は関西と比較しても6分の1
以下

■ 供給不足

- ・ コロナ前から供給は3割まで回復であるが、更なる路線の拡大必要

03

中国インバウンド施策

馬蜂窩を活用した情報発信 (B to C)

- 目的

中国で最も人気のある旅行口コミアプリ「馬蜂窩」にセントレア公式アカウントを作り、中部エリアの観光資源の魅力を発信。FIT化が進む個人旅行者への認知拡大、中部への送客につなげる。
- 事業内容: 親子旅をテーマとした観光スポットの紹介
 - ロング記事(取材有) 2本 ライブ配信 2本
 - ショート記事(写真提供) 9本: 中部9県観光スポット紹介
- 実施主体: 中部国際空港
- 連携: 浜松市、(一社)中央日本総合観光機構、名古屋鉄道(株)

中国旅行会社向けの情報発信 (B to B)

1. オンラインツアーの実施
 - 目的

中国現地旅行会社との関係強化を図り、コロナ回復期に中部への団体旅行商品造成を促進し、中部への送客につなげる。
 - 開催日: 2023年4月11日
 - 内容: 中部地域の観光スポット、宿泊施設、ランドオペレーターを紹介
 - 実施形式: オンライン(中国語)
 - 参加人数: 中国の現地旅行会社等 100名程度
 - 実施主体: 中部国際空港 共催: (一社)中央日本総合観光機構



2. We chatを活用した情報発信



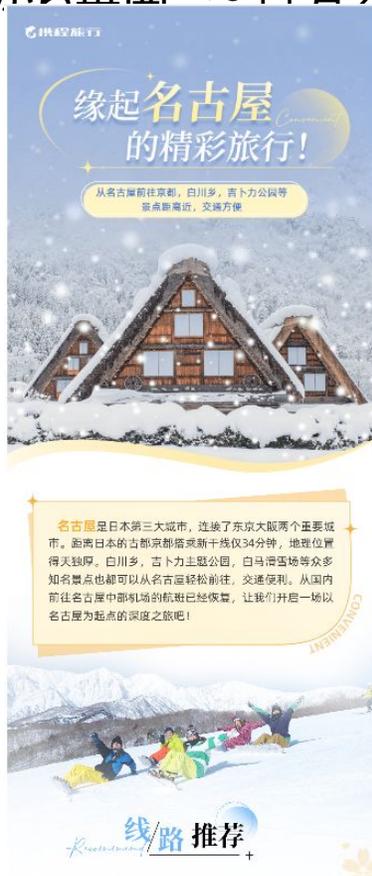
中国大手OTA-Ctripでの広告掲出

■ 目的

1. コロナ禍で興味関心が薄くなった中部地域の認知を拡大させ、興味関心を高めることにより、中国市場からの誘客を促進。
2. 特に搭乗率が安定しない北部路線(北京、天津、大連)に限定して、プロモーションを実施することで、搭乗率の向上、当該路線の安定化・維持、さらなる拡大に繋げる。

■ **ターゲット:** 北京、天津、大連及びその周辺地域在住者(上海も追加)で、数か月でctripで目的地「日本」を検索した人。

■ **実施時期:** 10月17日(火)から再開 ~ 11月27日(月)



RED、Weiboを活用した中部地域の認知・興味関心の拡大

- **目的**
旅マエに中部地域を全く知らない人へ認知拡大を図り、マーフオンヤーのプラットフォームにつなげ、訪日誘客を促進。
- **実施時期**: 11月末～2024年2月
- **内容**
在日の中国人トップKOL2名とKOC30名(フォロワー1万人程度)が中部地域の魅カスポット、グルメ、体験取材し、RED、Weiboで終節の誘客に向けて拡散。中部を知らない人の興味関心を引かせる。記事は、プラットフォームであるマーフオンヤー



万人程度 Weibo

小红书 RED

馬蜂窝



画像(最大9枚)
+テキスト(200文字~1000文字)



北海道旅行 Day2 | 漫游小樽运河
从香港来到北海道第二天啦, 今天去小樽! tvb 剧集取景的镜头

画像(最大9枚) or ショート動画
+テキスト(200文字~1000文字)



打卡景点

- 船见坂: 《情书》经典取景地, 邮递员骑着电单车, 日日往返于斜坡之上。站在地势高处, 眺望远方漂亮的海面, 这样的景色太难美了。
- 小樽运河: 与北海道的开拓历史同脉, 至今有一百二十多年历史。是北海道现今唯一的, 也是最古老的一条运河。
- 日本银行旧小樽支店金融资料馆: 位于被誉为北方华尔街的日银通上, 可以看到1亿日圆有多少。
- 童话十字路口: 被游人评为是小樽最浪漫的地方之一, 街道两旁完整地保留着许多日本明治到大正年间所建造的欧式楼房, 让人仿佛置身梦幻的童话世界一般。
- 列车圣地
- 大正硝子馆: 大正时代是日本玻璃制造历史中优秀作品辈出的时代, 继承了上述时期风格的和風玻璃制品。
- 小樽音乐盒堂: 日本历史最久、规模最大的八音盒博物馆, 门口有世界上最大的蒸汽钟。

画像(最大20枚)
+テキスト(~5000文字)

中国旅行会社を招請したファムトリップ・商談会

■ 目的

プライベートツアーを造成する中国旅行会社8社をし、ファムトリップを実施するとともに、中部地域の事業者、ランドオペレーター等との商談会を実施。セントレア着地のプライベートツアーを造成し、路線の利用促進を図る。

■ 招請時期:

12月10日(日)～12月16日(土)

■ 商談会

日時:12月15日(金)

会場:セントレアホール

参加者:中国側

招請旅行会社8社、その他中国旅行関係者

日本側 事業者、自治体等

※商談会は、日中ツーリズムビジネス協会が主催する日中トラベルサミット2023のプログラムとして実施。

社



地域一体となった中部地域の魅力発掘と 認知拡大



ご清聴ありがとうございました

